

所蔵品展 No.129

特集：
昭和ニッポンの美術
一桂ゆき、植木茂ほか

創立30周年美術館友の会作品寄贈の歩み

会期： 5月19日(火)～7月5日(日)
月曜日休館

開館時間：
午前9時30分-午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料：
一般200(160)円/大学生100(80)円

※()内は20名以上の団体料金。
※18歳以下の方、70歳以上の方などは、観覧料が免除されます。
所蔵品展については、下関市と北九州市在住の65歳以上の方も観覧料免除(いずれも公的証明書の提示が必要です)。

特集：
昭和ニッポンの美術一桂ゆき、植木茂ほか

戦前と戦後を繋ぐ女性芸術家のパイオニア的存在であった桂ゆき(1913-1991)や、日本における抽象彫刻の先駆者として戦前から一貫して有機的なフォルムを探求し続けた植木茂(1913-1984)の作品を中心に、絵画・コラージュ・彫刻を60点ほど展示します。

二人の作品は、さまざまな想像をかきたてる形や物質感に特徴があり、自由に見る人を楽しませてくれます。戦前からユーモアある作品制作を行うのみならず、戦後には国際的評価を得て「ニッポン」の芸術家として、昭和を駆け抜けた二人の造形世界に迫ります。

そして定番の展示として、江戸から現代までの下関にゆかりある美術家による日本画も一堂にそろえて20点ほどご紹介いたします。狩野芳崖、高島北海(予定)や現代の日本画家を代表する小野具定(予定)の作品を展示し、時代を通観して日本画の世界をお楽しみ頂けます。



【出品作品】
左：桂ゆき《雀の学校》、1973年、油彩・紙・板、130×97cm
右：植木茂《作品》、1954年、木(イチヨウ)、53.5×32cm

▶ 関連催事

ギャラリー・トーク
(学芸員による展示解説)

5月30日、6月13日、27日
(各土) 午後2時～(1時間程度)
※参加には、観覧券が必要です。

創立30周年美術館友の会作品寄贈の歩み

さらに、創立30周年となる美術館友の会から寄贈された作品もご紹介。7名の芸術家による絵画・版画・写真といった多様な表現媒体の現代作品を7点ご紹介いたします。

問い合わせ：

下関市立美術館

〒752-0986 下関市長府黒門東町1-1
〔電話 083-245-4131〕〔FAX 083-245-6768〕

メールアドレス
kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

ホームページ
http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/bijutsu/